

2011年4月12日

各位

チャイナ・ボーチー・エンバイロメンタル・ソリューションズ・テクノロジー（ホールディング）カンパニー・リミテッド
代表取締役会長、総裁兼 CEO チャン・リーチェン
（コード番号：1412） （東証1部）

問合せ先（中国語・英語） CFO ツアオ・シャオピン
電話番号 0086-10-5878-2039

問合せ先（日本語・中国語） 日本事務所
代表補佐 王 尚子
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-7-16
ビュロー虎ノ門 1005 号室
03-3595-2008
電話番号 0034-800-1-00070 (IR 専用フリーダイヤル)

当社連結子会社による排煙脱硫改造プロジェクトの受注に関するお知らせ

当社の連結子会社である北京博奇電力科技有限公司（中国北京市豊台区、代表者：チャン・リーチェン）（以下「北京博奇」といいます。）は、この度、大唐陽城発電有限公司（以下「大唐陽城」といいます。）との間で、大唐陽城 2 基の 600MW ユニット向けに排煙脱硫改造プロジェクトにかかる契約（以下「本契約」といいます。）を締結しましたので、下記のとおりお知らせ致します。

記

1. 契約締結の理由

本契約の相手方である大唐陽城が運営をしている7号、8号ユニットの脱硫システムは当社が受注・建設したものであり、2007年より稼動しております。現在、同2基ユニットが使用する石炭の質が変化したこと、また環境保護基準を満たす必要があるため、脱硫システムに対して容量拡大・効率向上などの改造事業が必要とされています。これまで、北京博奇は大唐陽城及びその筆頭株主である大唐集団から数回にわたり受注したことによって（2008年9月26日、2009年9月25日開示済み）、良好な協力関係を持っており、同2基ユニットの脱硫改造プロジェクトにかかる契約を締結することに至りました。

本プロジェクトの受注及び実行により、北京博奇と大唐集団及び大唐陽城との協力関係が一層強化され、当社の脱硫事業ノウハウの蓄積、脱硫業務能力の更なる向上及び市場開

拓にも繋がります。

2. 契約内容

- 当事者：北京博奇及び大唐陽城
- 契約概要：北京博奇が大唐陽城 2 基の 600MW ユニット排煙脱硫改造プロジェクト向けに EPC 総請負（システムの設計、設備調達及び工事など）を提供します。
- 契約金額：契約概要に規定された設備調達・サービス対価として、北京博奇が大唐陽城より 9,350 万人民币元（約 1,215 百万円¹）を受領します。
- 完工時間：2012 年 10 月までの予定

本プロジェクトの概要は下表の通り：

| | |
|------|-----------------------|
| 建設現場 | 中国山西省・陽城県 |
| 契約形態 | EPC 総請負（設計・設備調達・建設など） |
| 装置規模 | 2×600MW |

3. 業績に与える影響

本契約の締結による売上は、当社の当期以降の収入に計上する予定であります。今後の業績に与える影響及びその詳細等につきましては、判明次第改めてお知らせ致します。

以 上

¹ 人民币元の日本円への換算は、2011 年 4 月 11 日付けの中国外貨管理局による公表換算レートである 100 円=7.6929 人民币元によります。